平成31年度 国語 3学年 指導・評価計画

学期	単元名	教材名	評価の観点	評価規準	主な 評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
1	言葉を探る	春に	話すこと聞くこと 書くこと 読むこと	・詩の中で用いられた表現 方法の工夫について理解し ている。	発言・発表 ノート 小テスト 自己評価 定期考査 ワークブック	・繰り返しや抽象的な疑問表 現などについて、その特徴を 指摘できる。
		立ってくる春		・表現に着目しながら,作 品の魅力を味わおうとして いる。		・表現上の工夫とその効果に注意して、作品の魅力ヲ読み味わおうとすることができる。
		私		・作品を読み, 人間, 社会などについて思いを巡らせ, 自分の意見をもっている。		・作品の読みを踏まえて,人間,社会などについて思いを巡らせ,自分の意見をもつことができる。
	付属語	助詞•助動詞		付属語のはたらきについて 体系的に理解している。	小テスト ノート ワークブック	・付属語にはどのような種類 や用法があるか理解できる。
	語りと向 き合う	近代の俳句	関心・意欲・態度 話すこと聞くこと 書くこと 読むこと 言語についての知識 ・理解	・言葉の意味を掘り起こして読む。	発言・発表	・俳句の中に使われている言葉の意味を理解し、俳句を味わうことができる。
	関係を生きる	新しい博物学	関心・意欲・態度 書くこと読むこと 言語についての知識・理解 話すこと聞くこと		ノート・小テス ト・定期考査	・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、理科系と 文科系の知識の関係について、 自分の考えをまとめることが できる。
	歴 史をひらく	情報を編集するしかけ	話すこと聞くこと 書くこと 読むこと 言語についての知	・同一の新聞記事・テレビ ニュースの報道を比較して 読む。	発言・発表 ノート 小テスト 定期考査	・新聞やテレビニュースなど を読み比べることをとおして、 その表現の仕方などを評価す ることができる。
		慣用句・こと わざ				・慣用句とことわざのはたら きや使い方を理解できる。
2	文化をつなぐ	旅への思い 。	書くこと 読むこと	・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解して味わう。	ノート 小テスト 定期考査 ワークブック 発言・発表	・歴史的背景に注意しながら 読み,文章の特徴を味わえる。
		和歌の調べ		・古人のものの見方や考え 方について,話し合ったり, 文章を書いたりして,自分 の考えを深める。		・古人のものの見方や考え方 について、話し合ったり、文 章を書いたりできる。
	論理を問う	歴史は失われ た過去か		・「歴史の記憶」の価値とはどのようなことか、筆者の考えに対する自分の意見をもつ。	ノート	・文章を読み比べるなどして、 構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自 分の意見をもてる。
		文化としての 科学技術		・筆者は現代の「科学技術」 をどのように捉えているの か,筆者の考えに対する自 分の意見をもつ。	発言・発表	・筆者の主張について、その 理由や根拠となる事実や事例 について、共感、賛成、疑問 などの判断を行い、適切に関 係づけながら読める。

_			Τ			
	書写		書くこと	・これまでに学習した楷書と行書、それぞれに調和した文字の特徴を理解したうえで、表現効果を考えて作品作りをしている。	発言・発表 自己評価	・これまでに学習した楷書と行書、それぞれに調和した文字の特徴を理解したうえで、 表現効果を考えて作品作りをしている。
	文化をつ なぐ	最後の一句	書くこと	その作品についてふれ,近 代の小説や物語を読む。	ノート	・近代の名作を読み、知識を 広げたり、自分の考えを深め たりできる。
	敬語	活用	関心・意欲・態度 話すこと聞くこと 書くこと 読むこと 言語についての知 識・理解	て理解する。	ワークシート ノート 小テスト 定期考査 ワークブック	・敬語の社会的役割を理解し、日常生活で適切に使おうとしている。
	語 り と 向 き合う	故鄉	話すこと聞くこと 書くこと	や社 会の中での人間の生 き方につい て考え,自分 の意見をもつ。	ノート	・「私」の抱いた「希望」の 内容を理解し、社会の中での 人間の生き方を考えることが できる。
3	書写		書くこと 言語についての知	・これまでに学習した楷書 と行書、それぞれに調和し た文字の特徴を理解して書 いている。	発言•発表	・これまでに学習した楷書と 行書、それぞれに調和した文 字の特徴を理解できている。
			関心・意欲・態度 話すこと 書くこと 読語にと 言語・理解		ノート 小テスト 定期考査 ワーク発言・発表	・三年間の中学校生活を振り返り、自分の経験から得られたことを自己PR文にまとめようとしている。
		スピーチで学 びを振り返る		経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。敬語を用いて、場の状況 や聞き手に応じて話す。		・自己PR文を読み合い,論理の展開や表現の仕方を評価して,自分の表現に生かすことができる。
		初恋		・「文語定型詩」の特徴を 捉えながら,暗唱すること をとおして詩を味わう		・詩の表現や内容に注意して, 文語定型詩の魅力を理解しよ うとできる。
	対話をひらく		話すこと聞くこと 書くこと 読むこと 言語についての知	話し合いを深める。 ・課題の解決に向け, 互い の考えを生かし合う。	ノート ワークブック 発言・発表	・社会生活の中から議題を決め、進行にそって、相手を説得するために意見を述べ合おうとしている。
		「対話力」と は何か		・説得力のある意見を述べ合い, 話し合いを深める。		・課題解決に向けて, 互いの 考えを生かし合うことができ る。
		自分の作品集 をつくる		・テーマに合った、文章の 形態などを選択する。		・課題やテーマなどにそって, さまざまな文章の中から作品 を選び,形態などを選択し, 構成を工夫して作品集にまと めることができる。